

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市勝北文化センター
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市上村335番地の8 名称 株式会社アライスホールディングス 代表者 代表取締役 富田 安彦
(3) 公の施設の所管部署	津山市観光文化部文化課
(4) 指定期間	令和 3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
(5) 評価対象期間	令和 4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	10,851 人 (前年度7,530人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等 (自主文化事業の内容) 風神太鼓、元気ッズひろば(太鼓)、ダンススクール、吹奏楽 ・年間稼働率 67% (前年度40.2%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 17,403千円 (前年度17,742千円) 指定管理料 15,592千円 利用料金収入 1,580千円 自主事業収入 158千円 その他の収入 73千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 19,699千円 (前年度17,945千円) 主な支出 人件費 6,741千円 光熱水費 7,460千円 消耗品費 179千円 委託料(施設管理) 3,347千円 事業費(自主事業等) 1,185千円 租税公課 360千円 その他 397千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールの空調(特に暖房)が起動しても寒いとの苦情が例年多く寄せられており、老朽化も要因の一つではあるが、部品交換が必要な箇所については随時対応している。 ・駐車場が暗く、2灯用5基が設置されているが、現在1基1灯のみ点灯可能である。老朽化に伴い交換の時期がきていると思われるので、LED球に出来ないかと模索している。 ・平成29年度よりネット予約を開設したが、電話・来館予約が多く事務作業を軽減するためにも、HPの見直しが必要で
-----------------	--

	<p>ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で開催出来ていなかったイベントをしてほしいという要望が多数あり検討中である。 ・利用料金は他の施設に比べ安価評価であり、カラオケ発表会・コンサート・講演会等が定着している。 ・スタッフの接客は高評価をいただいております、今後もわかり易く、笑顔で接客します。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症が少しずつ緩和され予約状況も戻りつつあるなかで貸館としての実績はほぼ目標を達成したが、燃料高騰による光熱費の増額により施設運営が厳しく、節電及び、メンテナンス費等の削減が余儀なくされた一年である。来年度は早急な対策で従来の営業・運営スタイルに戻りたい。</p> <p>〈自主事業について〉 事業計画により実施を予定していたイベントの多くは新型コロナウイルス感染症拡大防止により、集客数が見込めないと判断し全てのイベントを中止とした。 今後は利用者にとっての安心安全な施設管理を行い、感染症対策を徹底して実施していきたい。</p> <p>〈新型コロナウイルス感染症拡大防止対策〉 令和2年度に掲げた12項目の対策ガイドラインは継続し、催事終了後及び、1回/月定期殺菌作業を強化した。 令和5年3月13日からはマスク着用は個人の判断が基準となったが利用者全員がマスク着用をしているのが現状である。 催事時のコロナ対策としての検温・消毒・マスクは主催者側に一任しているが、館内の定期殺菌作業は継続している。</p> <p>現在もコロナ禍ではあるが、アンケート等をもとに修繕・修復を迅速に行い、近隣の方々を含め、催事を計画される方々が気軽に、安心して利用できる施設づくりをします。 また利用者の利便性を強化する一環として、ホームページの環境整備を行いサービス向上に努める。</p>
(3) 市の評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が抜けきらない中であって、利用者数及びに年間稼働率に前年比で大幅な増が見られる。感染拡大防止策を適切に講じたことによる利用者の安心感が利用促進につながっていると考えられ、指定管理者の施設運営への細やかな配慮と努力がうかがえる。</p> <p>電気代をはじめとした光熱水費の高騰で支出の増大が避けられない状況にある。評価対象期間では新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく中止とされたが、収入を確保する取り組みとして、魅力ある自主事業の実施に期待する。</p>